

常任委員会 所管事務 調査報告

産業民生常任委員会
委員長 小久保重孝

《7月30日(木)》

◆「伊達市民生委員児童委員協議会」役員
の皆さんとの意見交換会。

の民生委員・児童委員の皆さんの役割の大きさを痛感した意見交換会となりました。

《9月10日(木)》

◆「手話言語条例」及び「マイナンバー制度」について。

するマイナンバーの用途や今後のスケジュール等について担当する市民部の説明を求め、マイナンバーカードの交付手続きやその注意点等について質疑を行いました。

予算決算常任委員会

副委員長 山田 勇

総務文教常任委員会

委員長 菊地清一郎

《8月21日(金)》

◆「伊達青年会議所」
との意見交換会

「地域の交流について」というテーマを設け、伊達青年会議所の皆さんと伊達市における地域の交流について、意見交換会を行いました。

《9月9日(水)》

◆「防災計画と対策」
について

伊達市地域防災計画・水防計画などの各計画について、今までの変更点や今後の修正作業スケジュール等の説明を求め、調査を行いました。

当日は「相談支援の状況について」をテーマとして、伊達市民生委員児童委員協議会の皆さんに実体験を踏まえた活動や運営についてのお話をいただき、それをもとにして意見交換会を行いました。

「手話言語条例については、担当する福祉部より手話言語条例の考え方や制定に向けてのスケジュールや条例制定による効果などの説明を聞き質疑を行いました。

会議の中では、高齢者の孤独死の話などショックな話もありましたが、民生委員さんの日頃の活動実態をお聞きすることができました。特に現在委員は充足しているものの、委員自身が高齢化していることや地域で委員を担える人が少なくなっているという現状もお聞きしました。

質疑を通して同条例の必要性を認識すると共に、必要なサービスについて、今後関係団体を通じて整理をしていくことなどがわかりました。また、若い聴覚障害者の中には、スマートフォンやタブレットを使った会話が增えている手話を利用していない人も多くなっているとの話もありました。

あらためて高齢者の見守りや児童保護の観点で

「マイナンバー制度について」は10月からスタート

質疑の中で、マイナンバー通知カードの送付は11月になる見通しやe-Taxによる電子申告を行っている市民には、今年度はマイナンバーカードを作成しても電子申告ができないことや個人認証カードの更新時期と申告時期が異なる利用者に対しては、今回は引き続き個人認証カードの更新を案内していくことなどがわかりました。

いずれにしても初めての制度であり国民対象の大きな事業ということで、ミスのない慎重さと万全なセキュリティ体制を求める意見が出されました。また市民への説明会の開催なども求めましたが、説明会については、広報による

周知徹底を図り、必要に応じて検討していくこととなりました。

《9月4日(金)》

◆「伊達市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・戦略」について

「伊達市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」策定の背景等について説明を求め、同戦略の基本方針や今後の施策の方向等について調査を行いました。

